

Marimekko × HIGASHIYA

UNIKKO CAFE IN HIGASHIYA GINZA

UNIKKO
50TH
ANNIVERSARY



ウニッコ 50 周年

「クリエイティブなデザインと職人技とのコンビネーション」「暮らしを豊かにするためのものづくり」を大切にしてきた、フィンランドのマリメッコと、日本の HIGASHIYA が出会いました。

2014 年、マリメッコは、マリメッコ史上最もアイコンックなプリントであるウニッコの 50 周年をお祝いします。この特別なお祝いに参加するため、この秋、東京・銀座中央通りの和菓子店、HIGASHIYA GINZA にて期間限定 UNIKKO CAFE をオープンいたします。このデザインアイコンで彩られた店内では、伝統的な手法で、このイベントの為に職人がプロセスを重ねて作り上げたウニッコの和菓子をお楽しみいただけます。また併設の売場と HIGASHIYA man（青山店）では、お持ち帰り用のウニッコの和菓子をお楽しみいたします。

50 年もの間、ウニッコは多くの人々にインスピレーションを与え、時代を超えて愛され続けてきました。HIGASHIYA の持つ、時代を超えても変わらない伝統的な日本の美意識と出会った、この愛されるプリントの魅力あふれる個性をお楽しみください。

- イベント概要

開催期間：2014 年 10 月 25 日（土）～ 11 月 3 日（月・祝）

住 所：東京都中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 2F

電 話：03-3538-3230（売場）

03-3538-3240（茶房）

営業時間：売場 11:00～19:00

茶房 11:00～22:00 (L.O.21:00)

* 日曜・祝日 11:00～19:00 (L.O.18:00)

お 席：テーブル 34 席 / カウンター 4 席

メニュー：特別ウニッコ菓子メニュー

販 売：イベント限定風呂敷包み 4 個入 / 9 個入

(詳細は次頁をご覧ください。)



東京メトロ 有楽町線 銀座一丁目駅 7番出口前
銀座線 銀座駅 A9出口より徒歩5分



*10/24(金)14:00～18:00にプレス向けプレビューを行います。クリエイティブディレクター Anna Teurnell、チーフオペレーティングオフィサー Tiina Alahuhta-Kasko、デザイナー Sami Ruotsalainen が来日し、HIGASHIYA クリエイティブディレクター 緒方慎一郎とのトークセッションを開催いたします。取材依頼もお受けしておりますので、ご連絡をお待ちしております。

マリメッコショップ関連フェア

ウニッコカフェの開催を記念し、全国のマリメッコショップでアニバーサリースペシャルカラーのファブリックバッグを限定数販売いたします。また、お買い上げ金額に応じてウニッコの落雁をプレゼント致します。この機会に是非、マリメッコショップにお立ち寄りください。



ユニッコ菓子

日本が誇る伝統的な手法や感性を基に作られた、革新的な和菓子の世界を楽しんでいただきたいという思いから、再現率の高い樹脂の型ではなく、あえて昔ながらの木型を使用しています。また材料は全て天然のものを使用し、梔子や紅麴、竹炭、抹茶などで色づけをしています。

お持ち帰り用和菓子セットについて

マリメッコで永い間愛され続けているユニッコ柄の生地を、特別に風呂敷にしました。風呂敷の色は、詰合せの菓子の色に合わせて選んでいます。

銀座の街に、ユニッコの花が咲くことをイメージして...

—お菓子

・4個入

桃色(こし餡)2個、白色(ピンク餡)1個、墨色(白餡)1個

赤いユニッコ柄風呂敷付

・9個入

墨色(白餡)2個、黄色(白餡)2個、抹茶色(こし餡)2個、

白色(ピンク餡)3個

黒いユニッコ柄風呂敷付



UNIKKO

ウニコ (ケシの花) は、マリメッコの創設者であるアルミ・ラティアが、マリメッコは今後花柄をプリントしないと公表した直後の 1964 年に誕生しました。ラティアは花は生地になるよりも、ありのままの方が美しいと思うと同時に、当時すでにテキスタイル業界の中心であった花柄の代わりに、何か新しいものを作りたいと考えていました。しかしながら、デザイナーのマイヤ・イソラはラティアの決定を気にも留めず (おそらく彼女の庭に咲いていたケシの花からインスパアされ) 抗議の意味を込めて赤いウニコを描きました。それは新しく、生き生きとし、とても特徴的に見えたため、ラティアは一度見るなりすぐにコレクションに入れ、その後ずっと続くこととなりました。ウニコのストーリーは世界中の人々が自由に創造し、大胆に自分らしい道を進む意欲を引き出しています。

Marimekko

フィンランドのデザインハウスマリメッコは、日常生活に幸せを与えたいという強い使命から 1951 年に誕生しました。創設者のアルミ・ラティアが若いアーティストに、しきたりや古い考えにとらわれない特徴のあるファブリック柄の制作を依頼したところ、テキスタイルプリントの伝統を変える、大胆な色使いのノンフィギュラティブ (非具象的) なデザインが出来上がりました。マリメッコの中核でもある、大胆な柄と鮮やかな色使いは、クロージング、バッグ、その他アクセサリー、ホーム商品の中の、力強くタイムレスなデザインに表現されています。全ては日常のあらゆる瞬間に審美的体験を作り出すことを目的としています。

HIGASHIYA

「菓子」はもともと「果子」と書き、干した果実や木の実を食したのが始まりと言われていいます。

和菓子という文化は、身近な自然の恵みをより大きな自然に見立て、暮らしの中で四季の変化を愉しもうとする日本人の心の豊かさから生まれました。

HIGASHIYA とは、つまり、“日々の果子”。

伝統的な日本の美意識を現代に進化させ、私たちの日常の中に再び息づかせたいという想いが込められています。時代を越えても変わらない伝統的なこと。まだ見たことのない新しいこと。常識にとらわれない豊かな価値。これからの様式。

——それが HIGASHIYA の志です。

HIGASHIYA では、日本の伝統的な和菓子を現代のかたちに置き換え、提案しています。

“日々の果子屋” に由来する屋号には、和菓子がひとびとの日常に息づくようにという想いが込められています。

■店舗情報

Marimekko

Marimekko Ginza 東京都中央区銀座 3-3-16 B1・1F

HIGASHIYA

HIGASHIYA GINZA 東京都中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 2F